

NO.4
1969
3-28

教育大社公學ウラズ
斗争委員会新聞紙
事行

星翠山の旗の下、猿波移転実力阻止のさして集団に斗い抜いている星翠の社員の学友諸君々社員垂み君は、社員販賣部にいる学園ロッカヤウトといク困難な局面にあ、こ、群衆の社員への結集を呼びかけたい。

大学当局リ猿波移転派系は、二、三ハ五百名の幹部役を抱負し、突如我々のバリケードを破壊し大規模なキヤンペスをロックアウトするといく全く破廉恥む暴挙をした。この幹部隊員入ことは、まさに猿波移転派系の叫びに恐怖した当局が、国民党反対の立場に入による事態に收拾口をはかり、六月に予定されりる予算計上期限を考慮し已進動的む猿波達活動であるということを明白に指みとらぬから。そして時昇六月以降の東大、日下埠等逐局長とする星翠学園山等の強烈の出の内で、その重要性を認めるしこそ我々幹部の出でる去る一月の東大山等の活動を「実機」にして反撃刃を政府文部省の初次で「反撃」の前に、現在東大山危険にあるといふこと逐る當時に確立しておかれねばならぬことだろ。

我々の猿波移転派系の叫びは、六月以降大学当局の幹部役の取締役を解説し、同時に又日共リ民青のスト破壊運動をも大變前に庄らしつつ、既に日の長期に亘りている。この星翠山の強烈のバリケードの戦闘的の斗争の前にえりく破壊されるや、東大教行部のエビゴーネンヒリ下り官島学長代行の独断リ移転派系の決意」といふ文教費会を突飛にした形での強硬的の弾圧を成し遂げに、我々はここに大学当局リ猿波移転派系の派縁々の反動的本質、らむいはらば、最早これ以上推進することのさき得ない猿波移転の帝國主義的本質が露されているの

也。我々の叫びを無効化すること云ふのである。力の直接的介入は必當的であって、むしろ因襲を承認せしむる者反諸君々このうちの大學生の叫びある。対テファウトの決闘以来、星翠山を先頭に我々は国家权力の反撃を導くとしておらず

しつつ、尊西尊南を当い表りこそ。一回目に三〇名の大學生の部隊をも、この幹部の星翠を破し学内侵入をめどと、ひのび。確かに我々の叫びは現存、極めて困難な状況にある。吾、御用教員大日本はほひく星翠学園山等は星翠に活躍に庄、このひらり、しゃじむがる國家权力の直接を入れても、こしとも我々の叫びは崩れ去ることはないだろう。本館をはじめ学園の星翠のバリケードは破壊され、今や幹部隊の尼乾院学内を「吉地」としている。だが三日ロ日もの長遠にわたりて我々の叫び意を差満してはなりテードは不誠である。このバリケードこそは、幾多の理屈に抗して身も心も我々の心の中に強固に根づかれて、猿波移転実力阻止のその勝利の日まで詰め尽らることになりであろう。

学友諸君々、星翠の甚しう叫びこそが我々の處の叫いめのじ、今までに我々の、教育大星翠の眞面目が崩れてしまふ。豈獨り、今後もあるる手段をも、この斗争正義に狂奔するをあう。この畢竟にあつて我々のとるべき道は、見るだる大衆組合結集とそれも黄泉にして星翠の叫びの高揚以外に口ありえり。星翠の学友諸君々星翠の漸く固く結集し、猿波移転阻止をめざして最後まで叫い抜こう。けりませんか、不死鳥の如き叫うべトスモセ、こ社山等に再構築せよ。

最後に、長期に亘る差し入れ書の対応、そして多額のガソル、ほんとうにありがとう。この紙面をかりて心からの感謝の意を表する次第である。

★猿波移転実力阻止!!
★機導隊導入弾劾!!

★星翠学園斗争勝利!!

★全学山の旗の下、勝利の日
まで斗争へよう!!

社員奉行再結集セヨ